

北陸情報通信協議会イノベーション部会 第20回会合を開催

～ 地方創生2.0への認識深める ～



第20回会合の様子

北陸情報通信協議会イノベーション部会（部会長：丹 康雄 北陸先端科学技術大学院大学 副学長 教授）は、令和7年9月4日（木）、ITビジネスプラザ武蔵とオンラインによるハイブリッド方式により、第20回会合を開催し、会場9名、オンライン12名の計21名が参加しました。

始めに、内閣官房新しい地方経済・生活環境創生本部事務局 参事官補佐 宮川 惇 氏から「地方創生2.0に向けた取組について」と題し、地方創生2.0の基本姿勢・視点や政策パッケージなどの「地方創生2.0基本構想」の概要や、新しい地方経済・生活環境創生交付金についての紹介がありました。



内閣官房 新しい地方経済・生活環境創生本部事務局 参事官補佐 宮川 惇 氏



イノベーション部会 丹 部会長

続いて、富山県（商工労働部地域産業振興室 経営支援課）、石川県（商工労働部産業政策課）及び福井県（産業労働部経営改革課）から令和7年度の各県の中小企業DX化などのデジタル支援施策の紹介が行われました。

次に、事務局から、令和7年度活動方針に基づき、具体的な活動内容とスケジュールの提案があり、IoT施設見学会や北陸地域ICTイノベーションセミナー2025の実施について確認しました。（活動スケジュールは右図のとおり）

最後に、丹 部会長から「最近の動向紹介」として、新地方創生交付金デジタル実装型に関しての北陸地域での採択案件の状況やIoT機器のセキュリティレベルが見える化する「JC-STAR制度」への対応状況について説明がありました。また、令和6年能登半島地震での被災直後の通信サービスの途絶という経験を踏まえ、NTN（非地上系ネットワーク）への期待が高まっているとの報告がありました。

イノベーション部会・令和7年度 活動スケジュール



【テーマ】北陸地域の特徴を活かしたDX推進に向けての技術シーズによる課題解決、更にはDXの全国展開の推進

	R7/ 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R8/ 1月	2月	3月
部会					▼ 第20回部会 (9/4) ・講演「地方創生2.0に向けた取り組み」 ・北陸3県から「デジタル化支援施策の紹介」 ・当面の部会の活動の具体化				▼ 第21回部会 ・R7年度活動報告 ・R8年度の活動の方向性		
WG					WG →						
WG 活動 内容	①	・北陸地域の課題解決や活性化につながる「分野間連携」に関する調査研究活動								・R7年度 活動総括	
	②	・北陸地域のDX推進に向けた技術シーズ、ニーズの取りまとめ ・各種分野におけるDXに向けたコンサルティング機能(人材育成等)の検討 ・導入支援策の収集、検討 等 ※事例の収集及び検討								・R8年度 活動方向性 の検討	
セミナー、 見学会等					▼IoT施設見学会(加賀東芝・10/10)				※IoT施設見学会 実施場所を令和7年度中に検討		
					▼ 北陸地域ICTイノベーションセミナー2025						
【参考】 北陸サイバー セキュリティ 連絡会など					全国型CTFイベント(11/8) ▼				▼サイバーセキュリティインシデント演習(12/10) サイバーセキュリティデイズ2026 ▼ 北陸サイバーセキュリティ連絡会 ▼		

◆イノベーション部会 令和7年度活動方針は [こちら](#) から

【お問合せ先】北陸情報通信協議会 イノベーション部会事務局
電話 076-233-4421